

新・東中とんぼ通信

発行 横浜市立若葉台東中学校 編集責任 鈴木 徹
表紙イラスト こみね さおり



第12号

わかばの習 が始まりました

「わかばクラス」の担任・クラスメートも決定し、いよいよ本格的に「わかばタイムⅡ」がスタートしました。各クラスともまずは、東中「農園」の栽培計画から学習を開始したようです。なかには、バードウォッチングや巣箱作り、草木染め、東中とんぼ池を利用した微生物観察など、従来の畑作り一辺倒の学習内容から脱却し、新しい学習内容に挑戦しようとしているクラスも現れているので、その動向に興味と期待が持たれます。今後は「わかばアカデミア（全校学習発表会・2月開催予定）」に向けて、学習の積み重ねと、学習成果のとりまとめが大切になってきます。東中には、環境学習に役立つ学習素材がたくさんあります。それらはまだ十分に活用されているとはいえません。これから行われる「わかばタイムⅡ」の中で、新しい学習が行われ、たくさんの学習資料が集まると良いと思います。その財産こそが「わかばタイムⅡ」を充実させていく方法だと思えます。

少々気が早い感じもしますが、8月末の東中「海の教室」に向けて、個人学習も始まります。学習である以上は当然のことですが、しっかりした学習の目標と学習計画が必要になります。学習のまとめ方も工夫するべきでしょう。このあたりが遊びとの違いです。楽しむことは重要なことですが、成果を残す努力をしましょう。

海の教室で観察できるかも？

これ、なんだか分かりますか。「海の教室」実施場所近くの漁港で去年見つけました。

この子は水面上をピョンピョンと飛び跳ねていました。最初は、水面に落ちた昆虫が動いているのではないかと見間違えた程でした。



おそらくですが…この子は、皆さんが良く知っている魚の稚魚です。成長するに従って、呼び名が変わります。照り焼きにして食べる人が多いようです。



陸地 **海とみ波** で生活していると、地球上では、海の方がずっと広い実感はわきません。また、海は多くの「未知」を秘めています。海の教室では、ぜひ、それらを味わってほしいと思います。

表紙に寄せて

真ん中の子は編集人の幼き日の姿であります。少し昔は、幼き者も、年長の兄さん達に混じって遊んでもらったのです。しかし、何をやるにも付いていくのがやっとの事で（泣き!）、遊びの中で鍛えられていたようなものがあります。それでも、仲間には面倒見の良い兄さんもいました。後ろが、そんな兄さんの姿であります。